

文部科学省委託事業
子供の心身の健全な発達のための
子供の自然体験活動推進事業

「ボーイスカウトとあそぼう！ ワクワク自然体験あそび」 事業説明

2020.7.26

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟



そなえよつねに
ボーイスカウト

本日の進行

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 開会 | 佐野友保 専務理事 |
| 2. 説明者紹介 | 司会 |
| 3. 事業概要説明 | 膳師功 常務理事、事務局 |
| 4. 募集活動の展開について | 福嶋正己 日本連盟コミッショナー |
| 5. 事務連絡（今後の予定） | 事務局 |
| 6. 質疑応答 | |
| 7. 閉会 | 佐野友保 専務理事 |



事業概要

文部科学省では、**新型コロナウイルス感染症の影響**（屋外での活動の減少、未知の感染症に対する不安感）により、子供たちの成長にとって良くない影響を及ぼす恐れがあることから、**閉塞感を打破し**、子供たちの**元気を取り戻す**とともに健やかな成長を図れるよう、各地域の感染状況及び感染防止に十分留意した上で、**自然の中での体験活動を充実する取組**を全国的に展開する事業を行うこととした。

- 実施期間：委託日～2021年3月（土・日・祝日、長期休み）
- 実施頻度 複数回（多くの子どもが参加できるように）
- 対象 **小学生、中学生**（委託先に加入する会員に限定せず、広く募集）



日本連盟での事業展開案

- 文部科学省のねらい：全国の小、中学生への自然体験活動として、加入する会員に限定せずに広く募集することの要請を受け、**各地域で行われているスカウト募集の折の一般児童を招待して行う自然体験活動をその機会として展開する。**
- 過去に受託した事業のように一般児童のための特別なを計画するのではなく、ふだんのスカウト活動に体験参加できるような形で、**「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」**として事業を進める。
- 事業計画数についてh、全国711会場を想定し、各県連盟と調整を行う。



事業展開数

県連盟主催1回（47県連盟）、地区主催1回（203地区）、4個団当たり1回（1850団）の合計 全国711回

北海道	20	神奈川	39	滋賀	9	香川	6
青森	3	山梨	6	京都	21	愛媛	13
岩手	6	東京	72	兵庫	38	高知	2
宮城	10	新潟	11	奈良	17	福岡	16
秋田	3	富山	11	和歌山	8	佐賀	4
山形	6	石川	8	大阪	45	長崎	4
福島	12	福井	5	鳥取	7	熊本	12
茨城	17	長野	12	島根	8	大分	4
栃木	12	岐阜	12	岡山	9	宮崎	7
群馬	12	静岡	38	広島	13	鹿児島	7
埼玉	38	愛知	59	山口	11	沖縄	6
千葉	36	三重	5	徳島	7	合計	711



活動の進め方

- 近隣地域の自然（屋外）環境を有するエリアを中心とした内容

活動内容	時間	参加対象人数
1.比較的簡易な体験活動	半日程度	20人~30人
2.野外炊事体験等有り	1日	20人
3.ハイキング等の体験	1日	20人

- 安全管理を行っての実施

- 自治体（保健衛生部局）と適切に連携
- 学校再開ガイドラインの感染症対策に留意する
- 適切な安全管理対策（安全管理マニュアルの作成）を講じること

- 成果の把握 アンケート調査及び聞き取り調査による事業の効果を分析・報告

- 事業展開上の経費（教材費、感染症対策費、広報費など）

委託経費

- 会場毎の経費
 - 教材費（半日1万円、1日3万円上限）
 - 感染症対策費（1万円）
 - チラシ印刷費（一会場3000枚）
 - 共済
- 各県連盟（※）の経費 ※各県連盟毎に協議会を設置し対応
 - のぼり・横断幕（各会場毎2~4枚）
 - チラシ不足印刷費
 - 支払振込手数料 等
- 事業は、受益者負担により運営されるので、参加者個々の交通費、食費などは委託費の対象外となる。
- 各経費の取扱いは日本連盟で**取扱い要領**を作成する。



会場事業補助者（RS）の委嘱

事業の展開について、日本連盟から事業補助者として各会場3人のRSに依頼を行う。各会場担当団、県連盟などの推薦に基づき、依頼→事業補助者委嘱。補助者に謝金を支払う。

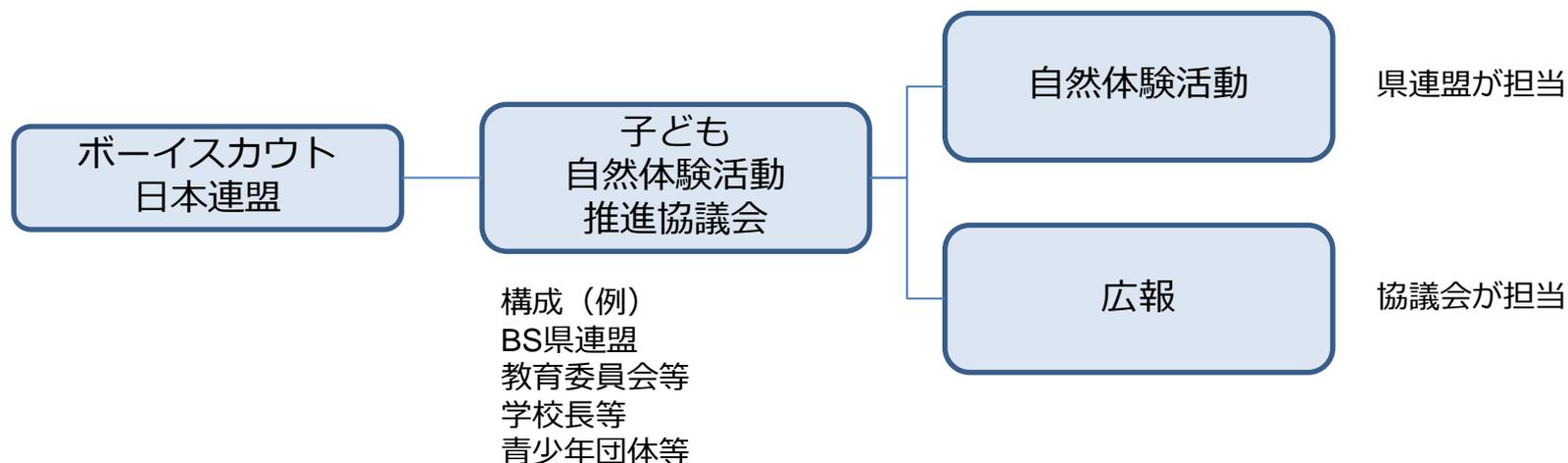
※コロナ禍において、生活や学費のためのアルバイトができずにいるRSへの支援の一環として行う。



子ども自然体験活動推進協議会

文部科学省委託事業「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」について、ボーイスカウト日本連盟が委託を受けた「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験」事業を推進する上で、各地域の自然体験事業を地域のボーイスカウトが担って推進していくが、地域の子どもたち、家庭へのアプローチ、特に学校を通じてのアプローチを行っていく必要があることから、地域の行政、関係団体に協力を得て、「子ども自然体験活動推進協議会」を設置する。

協議会の構成と担当



※協議会の事務は、BS県連盟で行う。

- 協議会の編成にむけて、日本連盟では文部科学省と調整し、各都道府県教育委員会等への説明文書を作成
- 小学校等へのアプローチ方法などについて資料提供予定（中途退団抑止特別委員会）

募集活動の展開について

福嶋正己 日本連盟コミッショナー



そなえよつねに
ボーイスカウト

事務連絡

- 事業数の調整 団、地区、県連盟の事業数の調整（想定数から）
8月16日（日）まで
- 運営協議会の設置調整（担当者の設置）
8月16日（日）まで
- 各会場の開催日程、内容の検討
8月16日（日）まで
- 事務（経費）取扱い説明会
8月23日（日）事業処理方法などの説明会、



質疑応答

- 体験集会の進め方
 - 団支援・組織拡充委員会による「体験集会（募集活動）」情報発信
- 広報展開
 - 社会連携・広報委員会による広報アイテム、ツールの提供

Q&A

1. 対象は小学生、中学生として募集する必要がありますか。（学年を限定できますか）
2. 未就学児童なども参加は認められますか。
3. 教材費はどのようなものですか。
4. 参加費を徴収することは可能ですか。
5. 協議会の構成には教育委員会が入らないといけませんか。

